

ボツリヌス毒素治療について

・ボツリヌス毒素治療は一般的にボツリヌス毒素を弱毒化し眼瞼けいれんや痙性麻痺などの治療に用いられています。ボツリヌス毒素には一時的に筋弛緩作用（筋肉の緊張を緩和する）があります。

・美容外科ではボツリヌス毒素は顔のしわ（おでこ、眉間、目じりなど）や下顎角部（エラ）の張り治療、ガミースマイル治療、多汗症などに使用します。

・当院の美容外科で使用しているボツリヌス毒素は国内未承認医薬品です。海外より輸入した製品を使用しています。（なお、脳神経外科で使用しているボツリヌス毒素は国内承認薬で別の製品になります。）

・一般的な副作用として注射部位の腫れ、内出血、赤み、痛みなどがあり、通常は数日から1週間程度で自然に治まることが多いです。

・別紙の同意書にてボツリヌス毒素のメリット・デメリット、副作用など記載してありますのでよく読んでご納得されたうえで同意ください。